

# 環境モニタリング結果（概要）

令和6年11月

環境省福島地方環境事務所

令和6年11月は、

空間線量率、大気中放射能濃度（Cs-134, Cs-137）、浸出水水質、放流水水質、防災調節池放出水水質、地下水水質等を測定しました。

## 放射能濃度

空間線量率	前月測定結果から特段の変化は見られませんでした。
大気中放射能濃度	前月測定結果から特段の変化は見られませんでした。
水中放射能濃度(浸出水、放流水、防災調節池放出水、地下水)	前月測定結果から特段の変化は見られませんでした。

## 環境測定項目（浸出水、放流水）

浸出水水質	概ね過去の値の変動範囲内でした。
放流水水質	排水基準を超過する項目はありませんでした。令和6年7月に化学的酸素要求量が計画処理水質を超過した事象に対して、現在、調査を行っています。
防災調節池放出水	排水基準を超過する値はありませんでした。

## 環境測定項目（地下水）

地下水水質	地下水下流（C-2）でカドミウムが環境基準を超過。これらは自然由来である可能性が高く、今後も有識者のご意見を伺いつつ注視してまいります。その他は概ね過去の値の変動範囲内でした。
-------	--

埋立処分の周辺環境への影響を把握するため、環境モニタリングを実施しました。

## 埋立開始

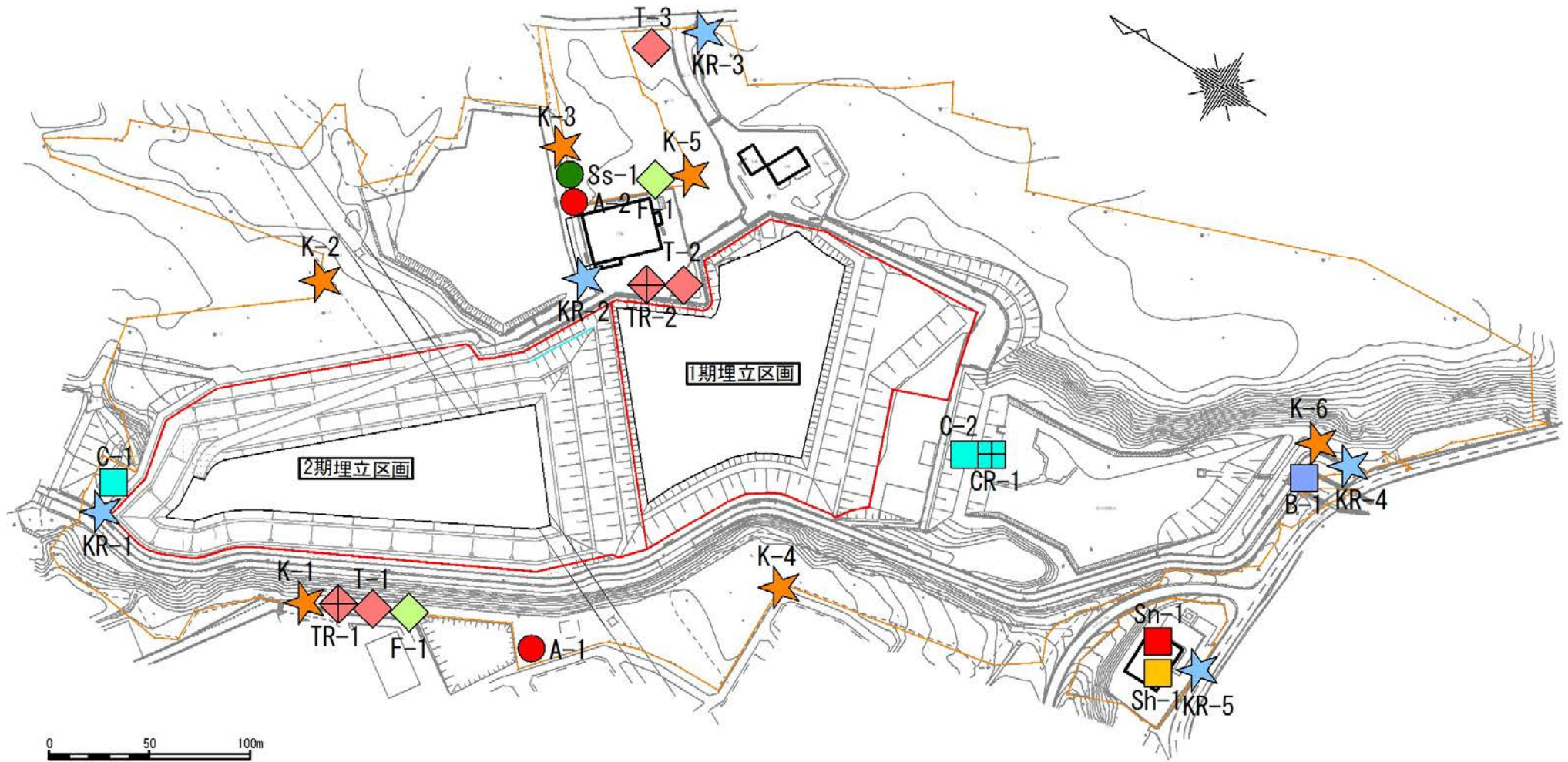
項目	2023年			2024年										
	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
空間線量率 (定期モニタリング)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
大気中放射能濃度 (Cs-134, Cs-137)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
地下水水質	●	●	◎	●	◎	●	●	◎	●	●	◎	●	●	◎
浸出水水質	●	●	◎	●	◎	●	●	◎	●	●	◎	●	●	◎
放流水水質	●	●	◎	●	◎	●	●	◎	●	●	◎	●	●	◎
防災調節池放出水水質			◎		◎			◎			◎			◎

◎ : 全項目測定 (放射能濃度及び空間線量率を含む)

● : 一部項目のみ測定

調査地点、結果の概要は次ページ以降参照、その他詳細はホームページ掲載のモニタリングデータを参照ください。

※ 1 表中に示す項目の他「空間線量率 (モニタリングポスト)」、「大気中放射能濃度 (α/β線連続測定)」、「地下水水質 (放射能濃度連続測定)」、「大気中粉じん (ダイオキシン類)」、「悪臭」及び「騒音振動」のモニタリングを実施していますが、本資料では次ページに調査地点のみを記載しました。



	空間線量率(定期モニタリング)		地下水水質		防災調節池放出水水質
	空間線量率(モニタリングポスト)		地下水水質(放射能濃度連続測定)		悪臭
	大気中放射能濃度(Cs-134, Cs-137)		浸出水水質		騒音振動
	大気中放射能濃度(α/β線連続測定)		放流水水質		粉じん(ダイオキシン類)

特定廃棄物の埋め立てによる影響を把握するため、放射性物質に係る環境モニタリングを実施しています。

● 【測定対象】

	 空間線量率（空間）	 大気中放射能濃度（ちり）	 水中放射能濃度（水）
連続測定	○	○	○ (地下水)
定期測定	○	○	○ (浸出水、放流水、地下水(上流・下流)、防災調節池放出水)

● 埋立開始（令和5年6月1日）の半年以上前から継続的に環境モニタリングを実施し、測定値の変化を見ています。

● 放射性物質の測定は、定期測定以外に連続測定も行っており、連続測定の結果は、以下より確認頂けます。

■ 連続測定結果

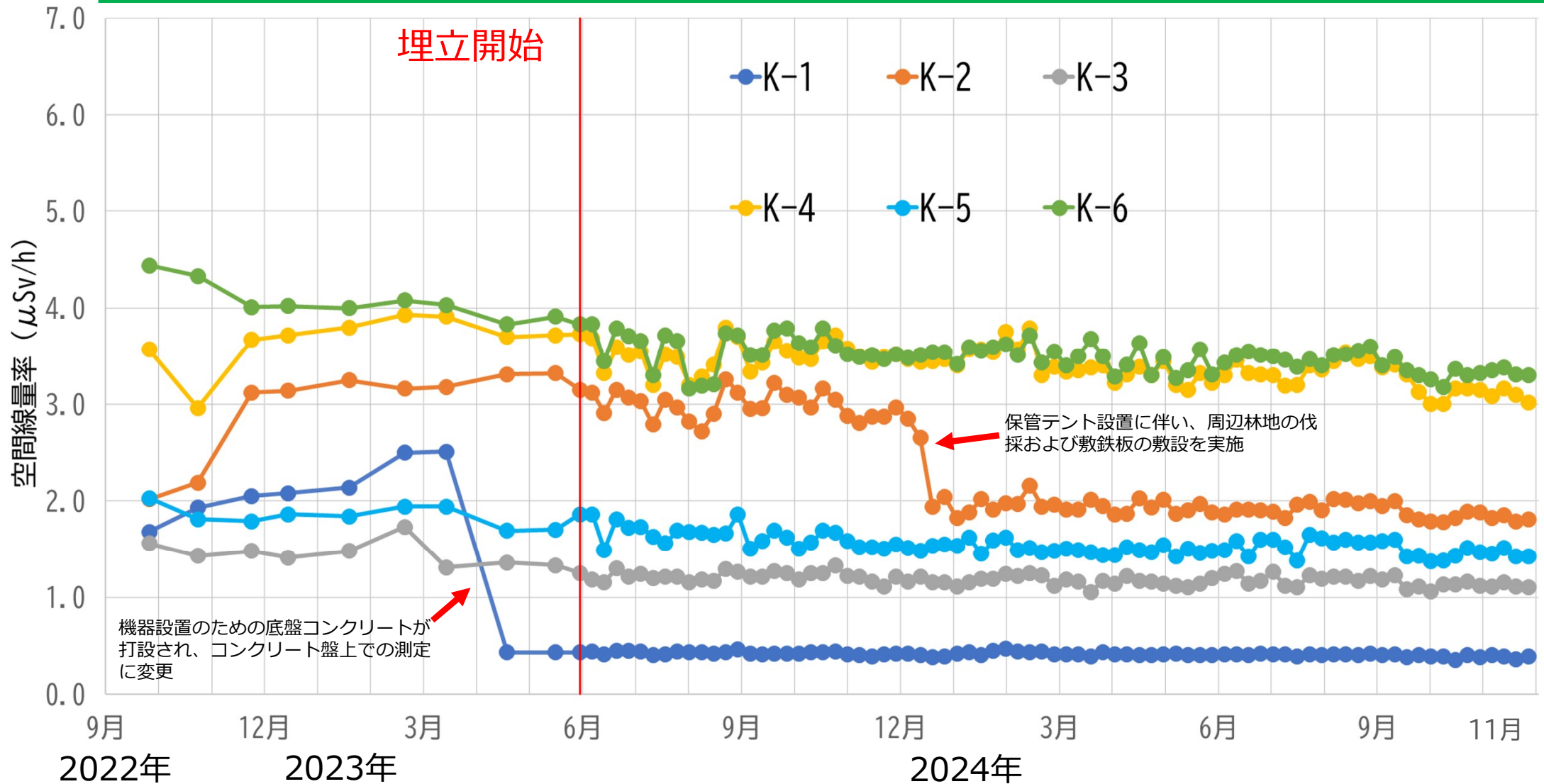
空間線量率：[空間線量率測定結果 \(env.go.jp\)](#)：令和6年度、令和5年度

大気中放射能濃度：[大気中放射能濃度測定結果 \(env.go.jp\)](#)：令和6年度、令和5年度

地下水中放射能濃度：[地下水中放射能濃度測定結果 \(env.go.jp\)](#)：令和5年度

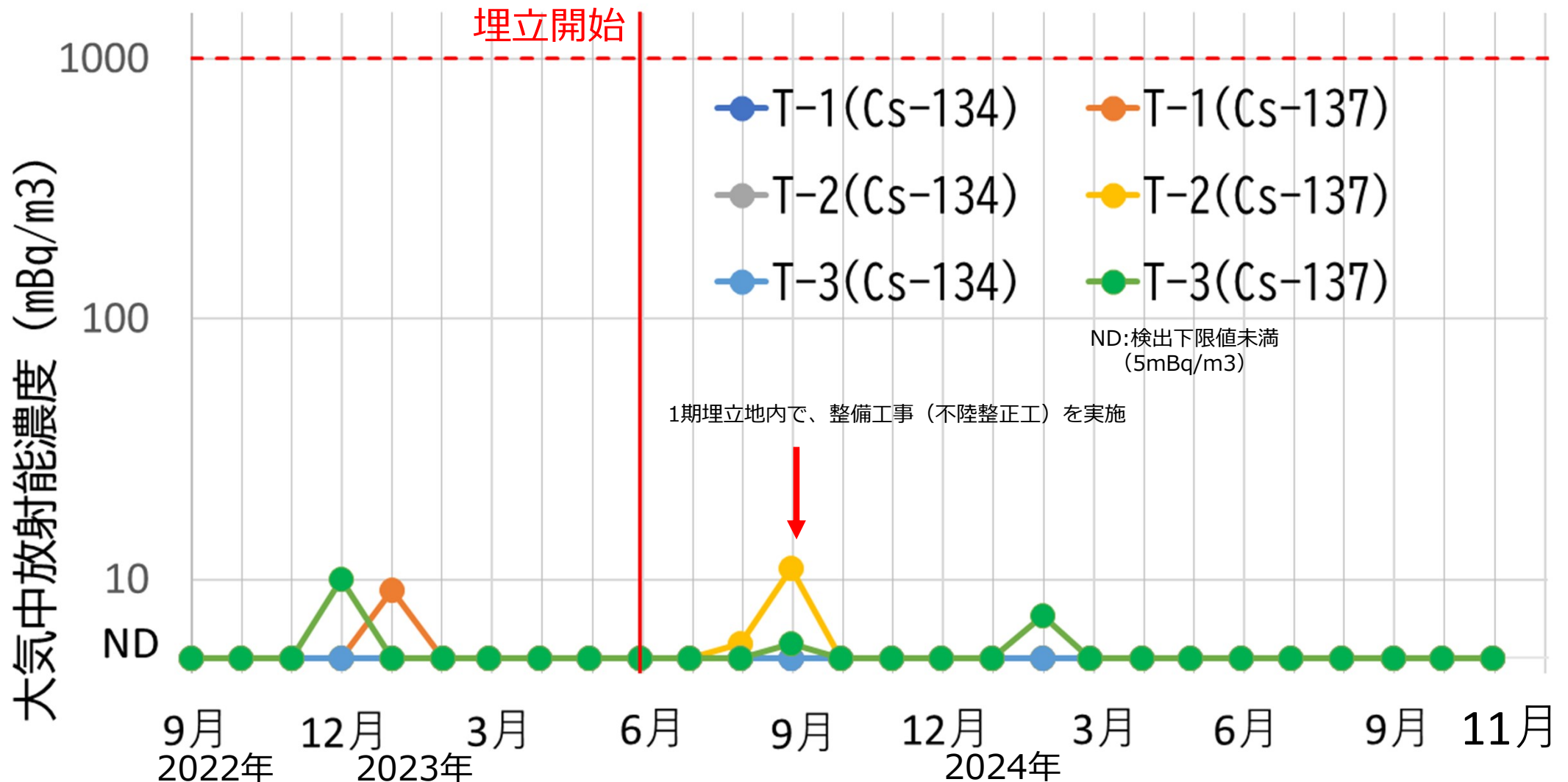


敷地境界の空間線量率を6か所で測定しました。  
前月測定結果から特段の変化は見られませんでした。



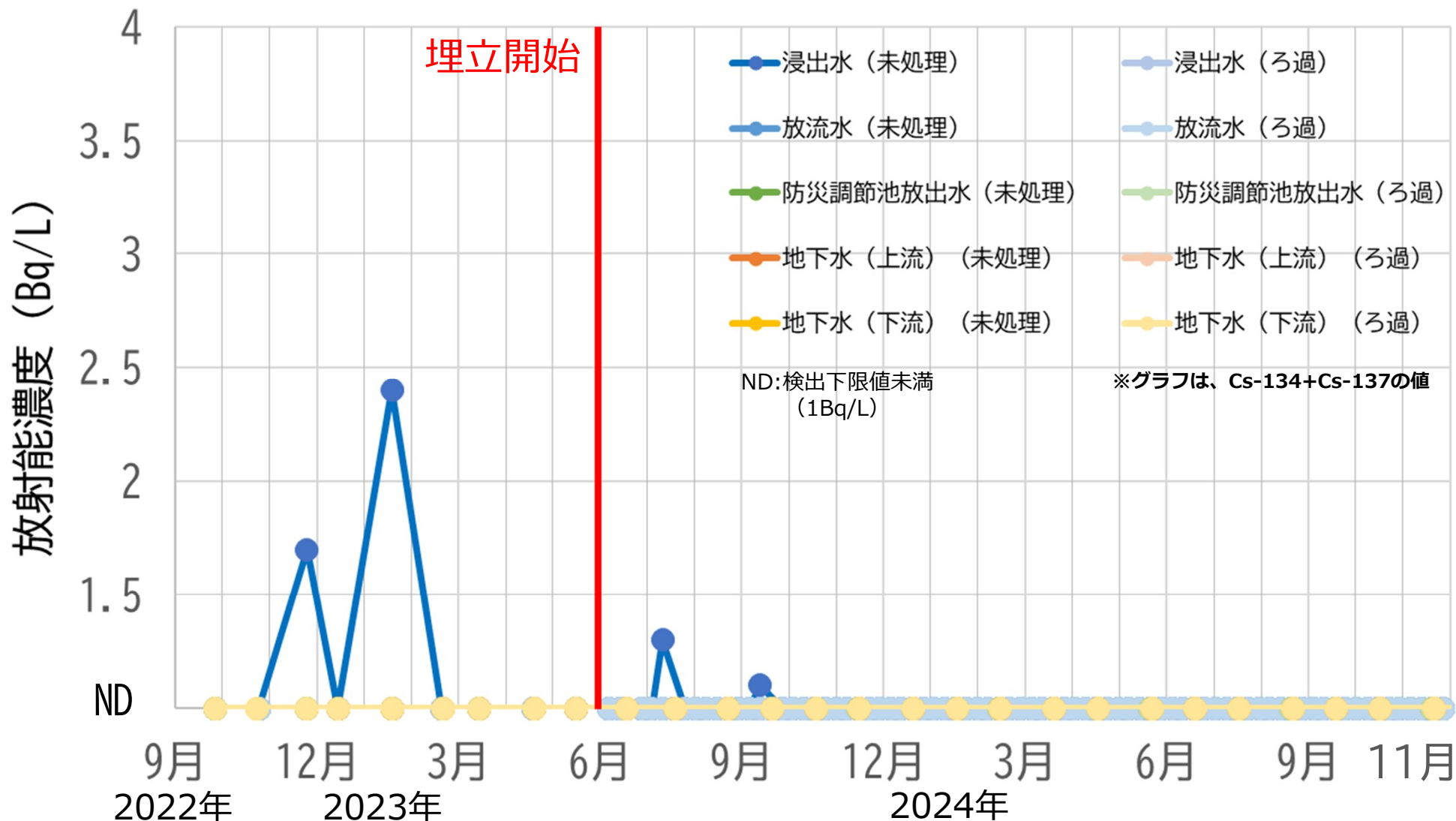
※詳細データはこちらからご確認下さい ([敷地境界の空間線量率 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp))

大気中放射能濃度（Cs-134, Cs-137）を3か所で測定しました。  
前月測定結果から特段の変化は見られませんでした。



※詳細データはこちらからご確認下さい ([大気中放射能濃度測定結果 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp))

浸出水、放流水、防災調節池放出水、地下水（上流・下流）で測定しました。前月測定結果から特段の変化は見られませんでした。



※詳細データはこちらからご確認下さい ([浸出水、放流水、防災調節池放出水、地下水の放射能濃度 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp))

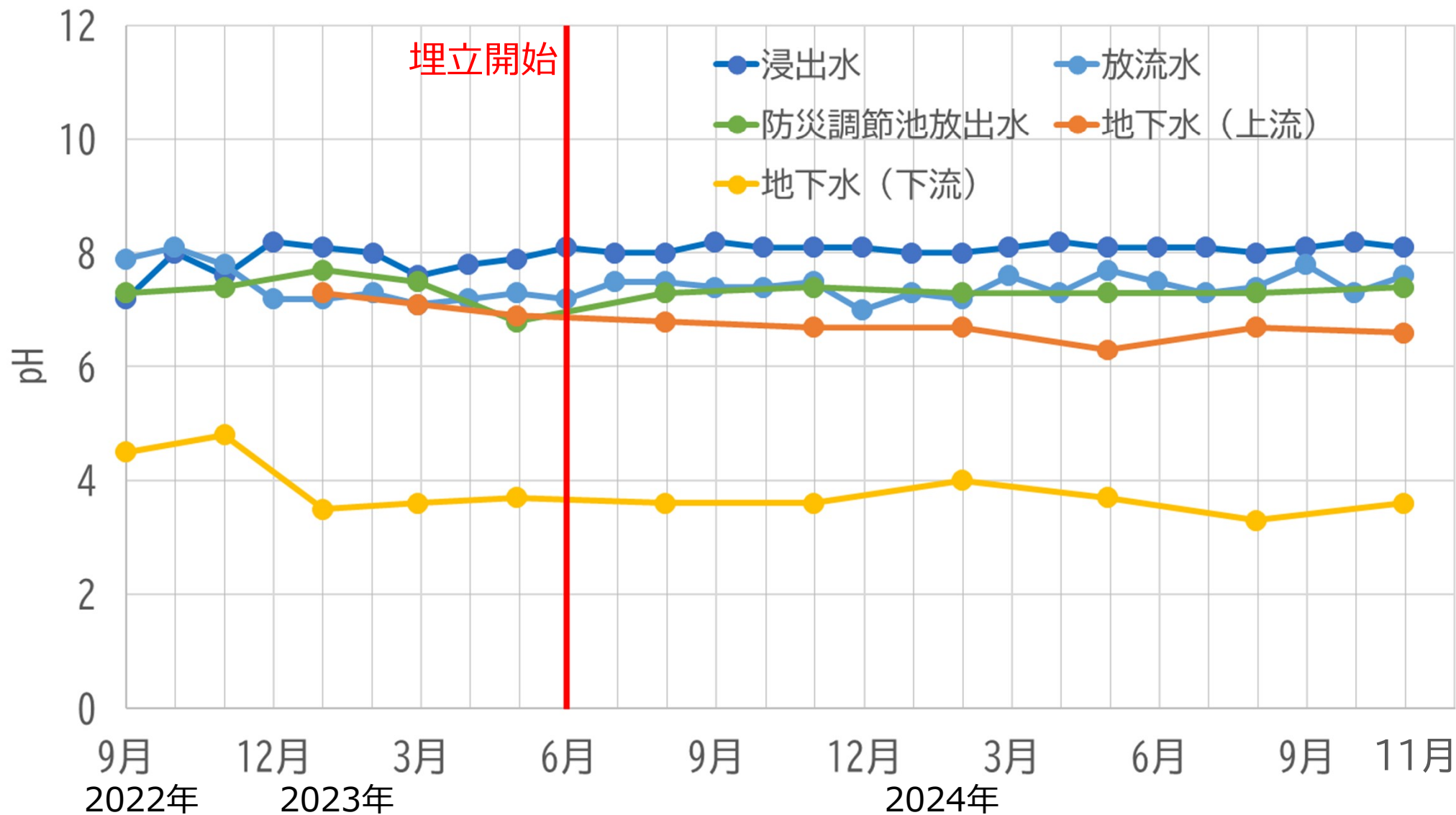


処分場及びその周辺への環境影響を把握するため、放射性物質以外にも様々な項目について環境モニタリングを実施しています。

- 周辺環境への影響の可能性を判断する上で着目すべき項目として、水質中の水素イオン濃度（pH）、電気伝導率（EC）、塩化物イオン、浮遊物質（SS）、化学的酸素要求量（COD）について取り上げます。

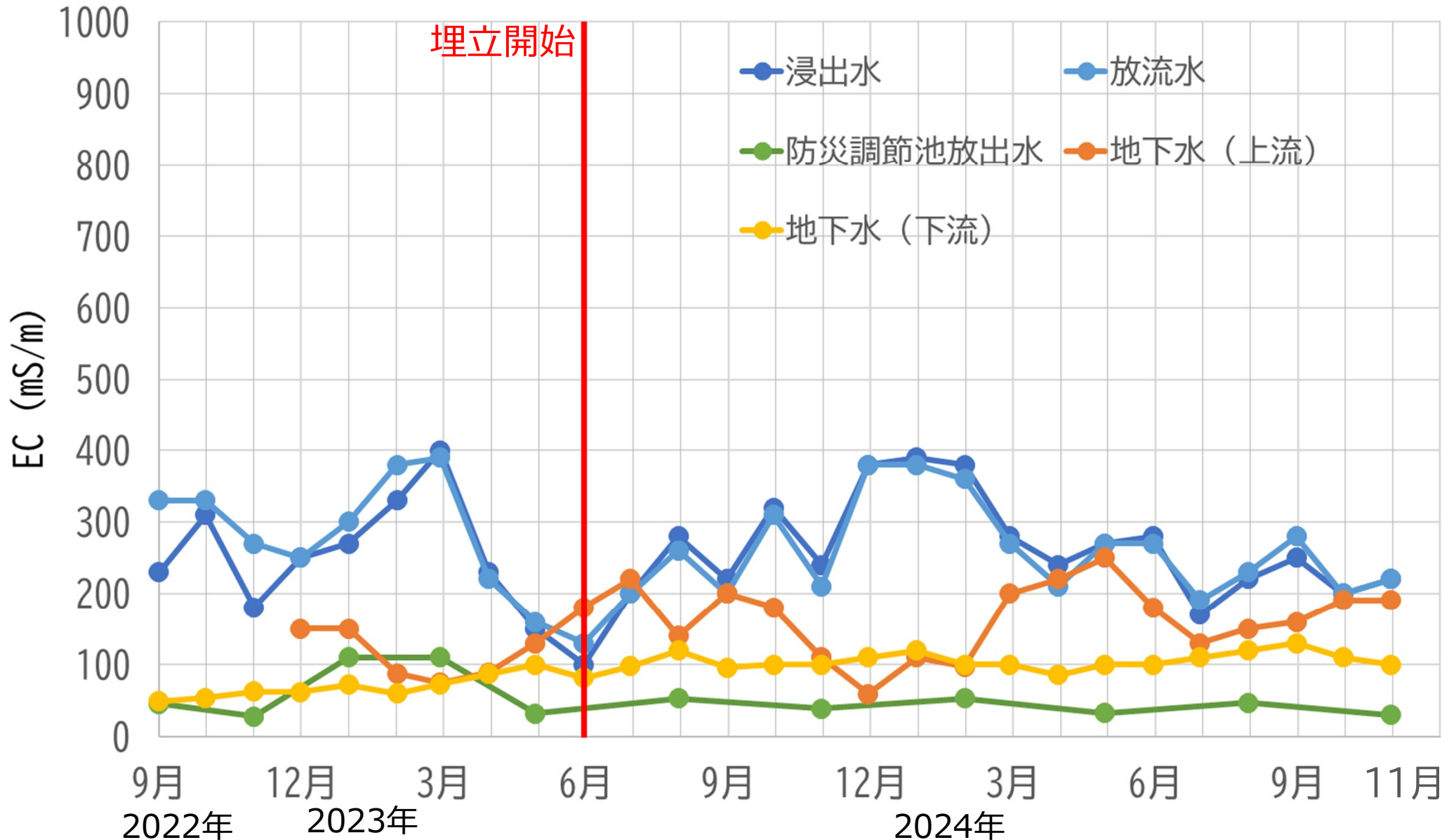
項目	単位	説明
水素イオン濃度 (pH)	—	水中の水素イオンの濃度を示す尺度で、酸性、アルカリ性の度合を示しています。酸性又はアルカリ性が強くなると水利用に支障があるほか、水中に生息する生物に影響を及ぼします。
電気伝導率 (EC)	mS/m	水の電気の通しやすさを示す尺度です。水に溶けている電解質（イオン）の量を示したもので、水溶性物質による汚濁の指標として用いられています。
塩化物イオン	mg/L	水に溶けている塩化物の量を示したものです。海水や地質に由来するほか、主に人間の活動によって排出されるため、排水の混入や希釈度の指標として用いられています。
浮遊物質 (SS)	mg/L	水に溶けない浮遊物質のことです。水の濁りの原因となる浮遊物による汚濁の指標として用いられています。
化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	水中に含まれる有機物を酸化するために消費される酸素の量を示したものです。水中の有機物による汚濁の指標となります。

水素イオン濃度 (pH) は、概ね過去の値の変動範囲内でした。



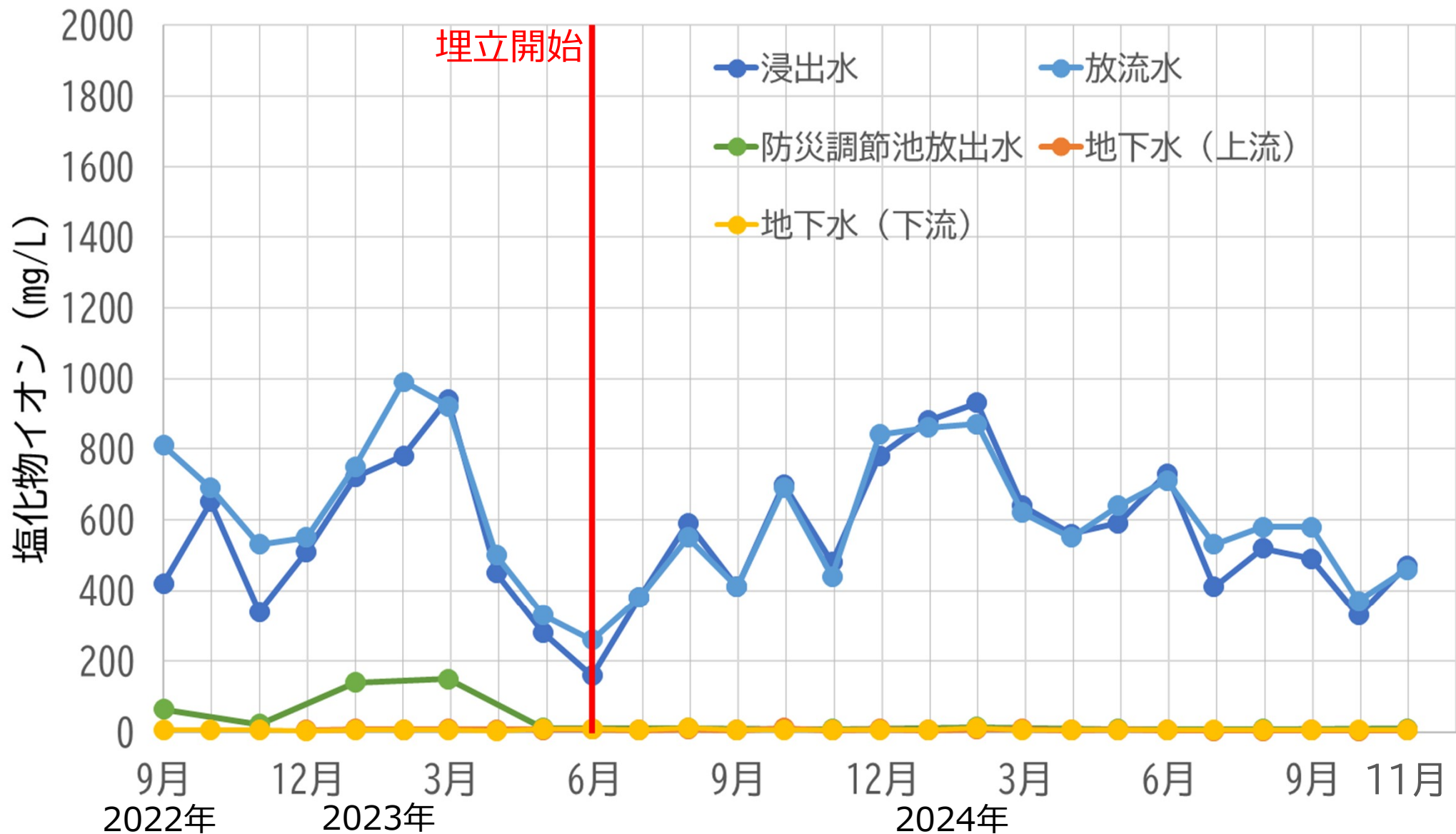
※詳細データはこちらからご確認下さい ([浸出水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp)) ([放流水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp))  
([防災調節池放出水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp)) ([地下水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp))

電気伝導率 (EC) は、概ね過去の値の変動範囲内でした。



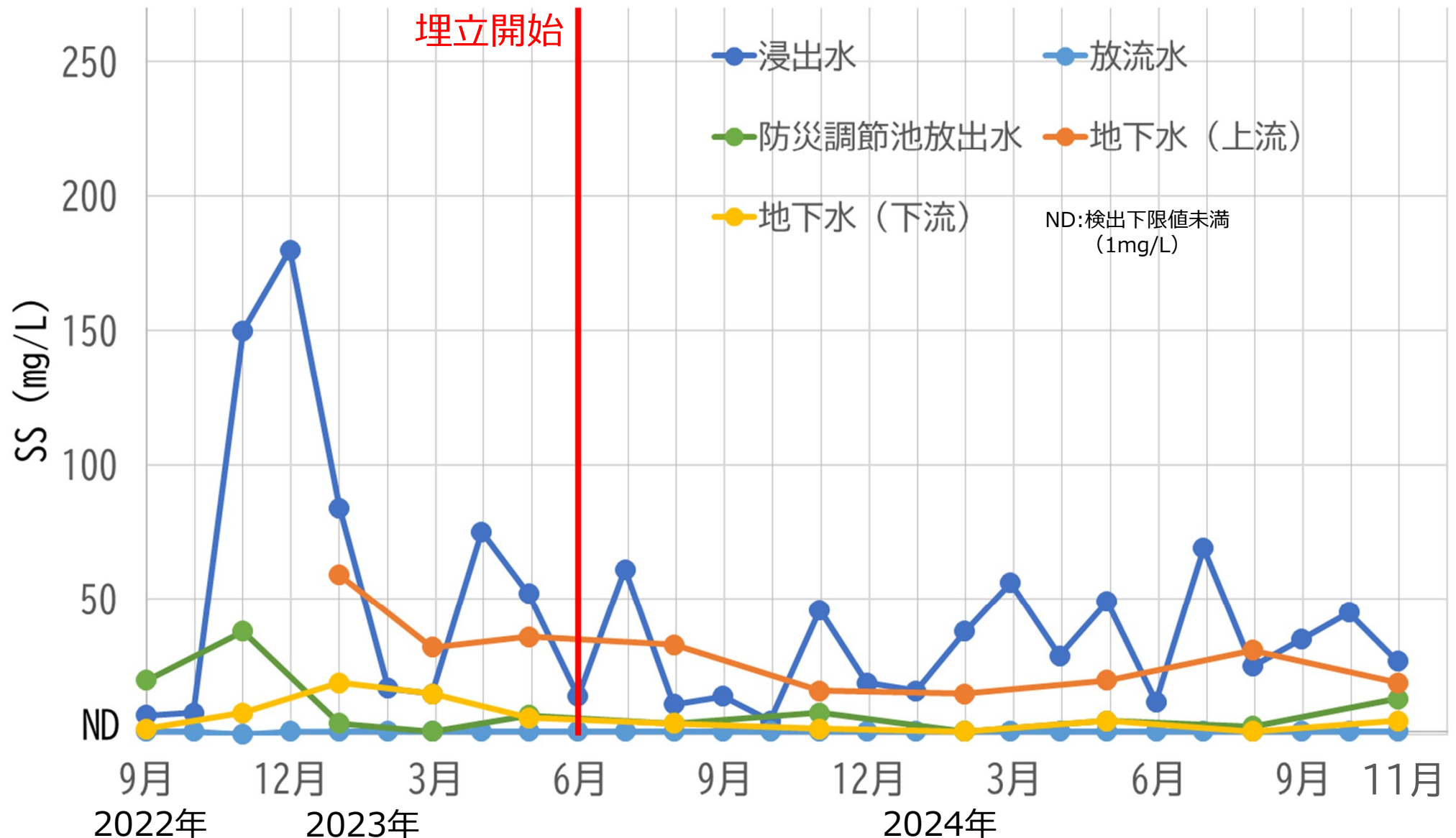
※詳細データはこちらからご確認下さい ([浸出水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp)) ([放流水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp))  
([防災調節池放出水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp)) ([地下水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp))

塩化物イオン濃度は、概ね過去の値の変動範囲内でした。



※詳細データはこちらからご確認下さい ([浸出水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp)) ([放流水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp))  
([防災調節池放出水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp)) ([地下水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp))

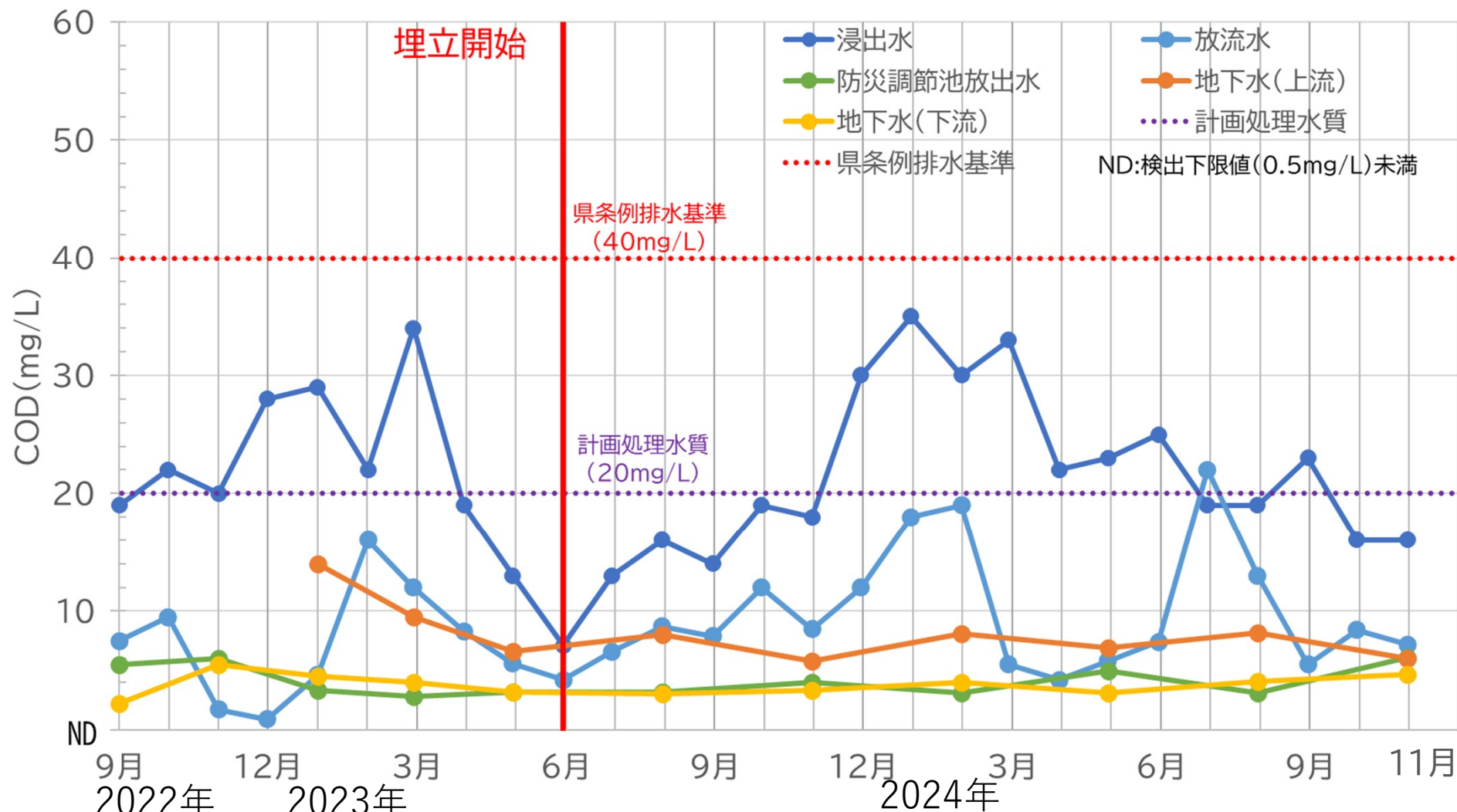
浮遊物質質量 (SS) は、概ね過去の値の変動範囲内でした。



※詳細データはこちらからご確認下さい ([浸出水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp)) ([放流水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp))  
([防災調節池放出水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp)) ([地下水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp))



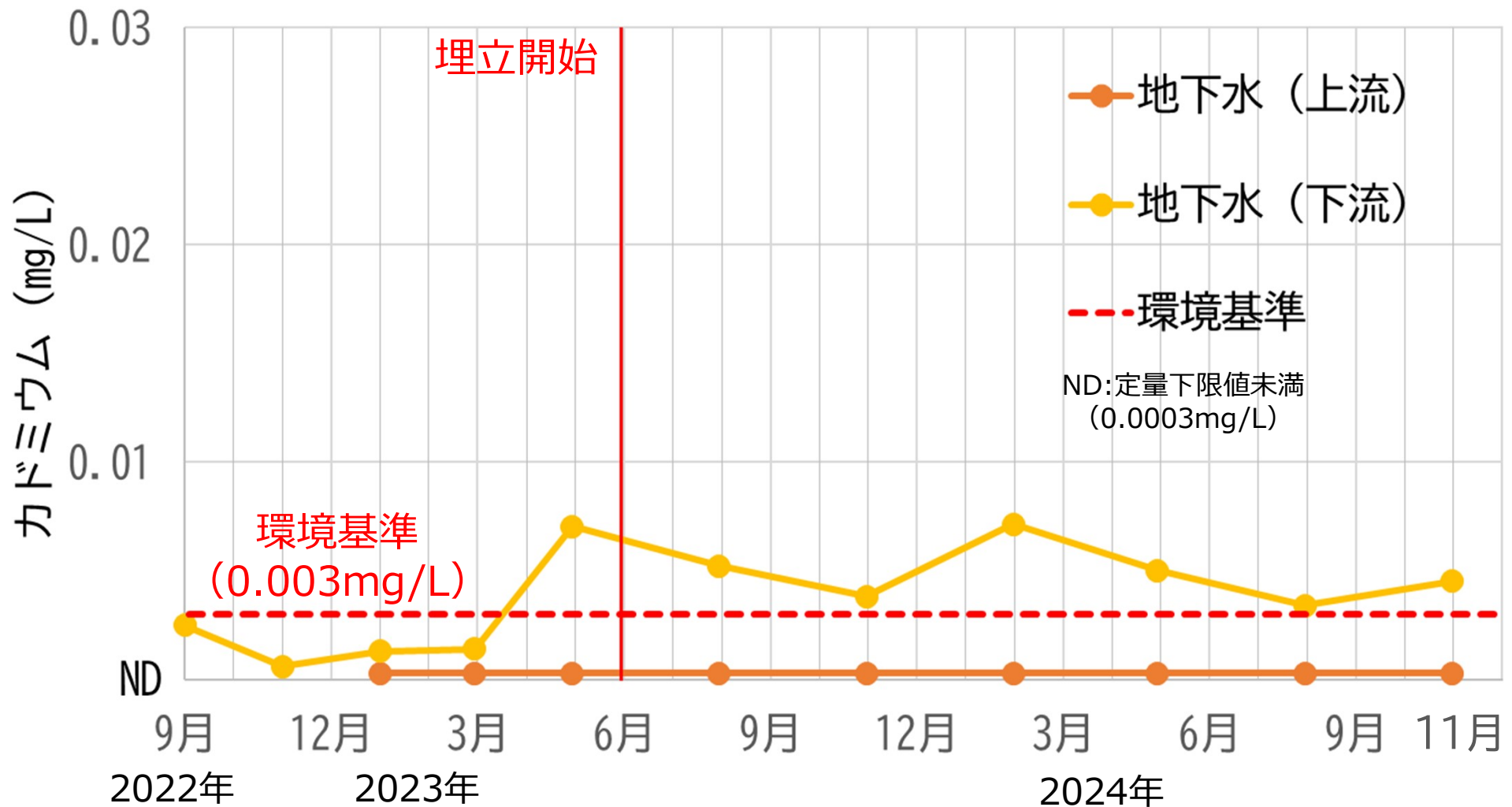
化学的酸素要求量（COD）の測定結果について、令和6年7月の放流水においてクリーンセンターふたば計画処理水質（20mg/L）を超過する最大値（22mg/L）を記録しましたが、11月度の測定における超過はありませんでした（7.2mg/L）。  
水処理施設の処理工程上の問題について、現在、調査を行っています。



※詳細データはこちらからご確認下さい ([浸出水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp)) ([放流水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp))  
([防災調節池放出水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp)) ([地下水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp))

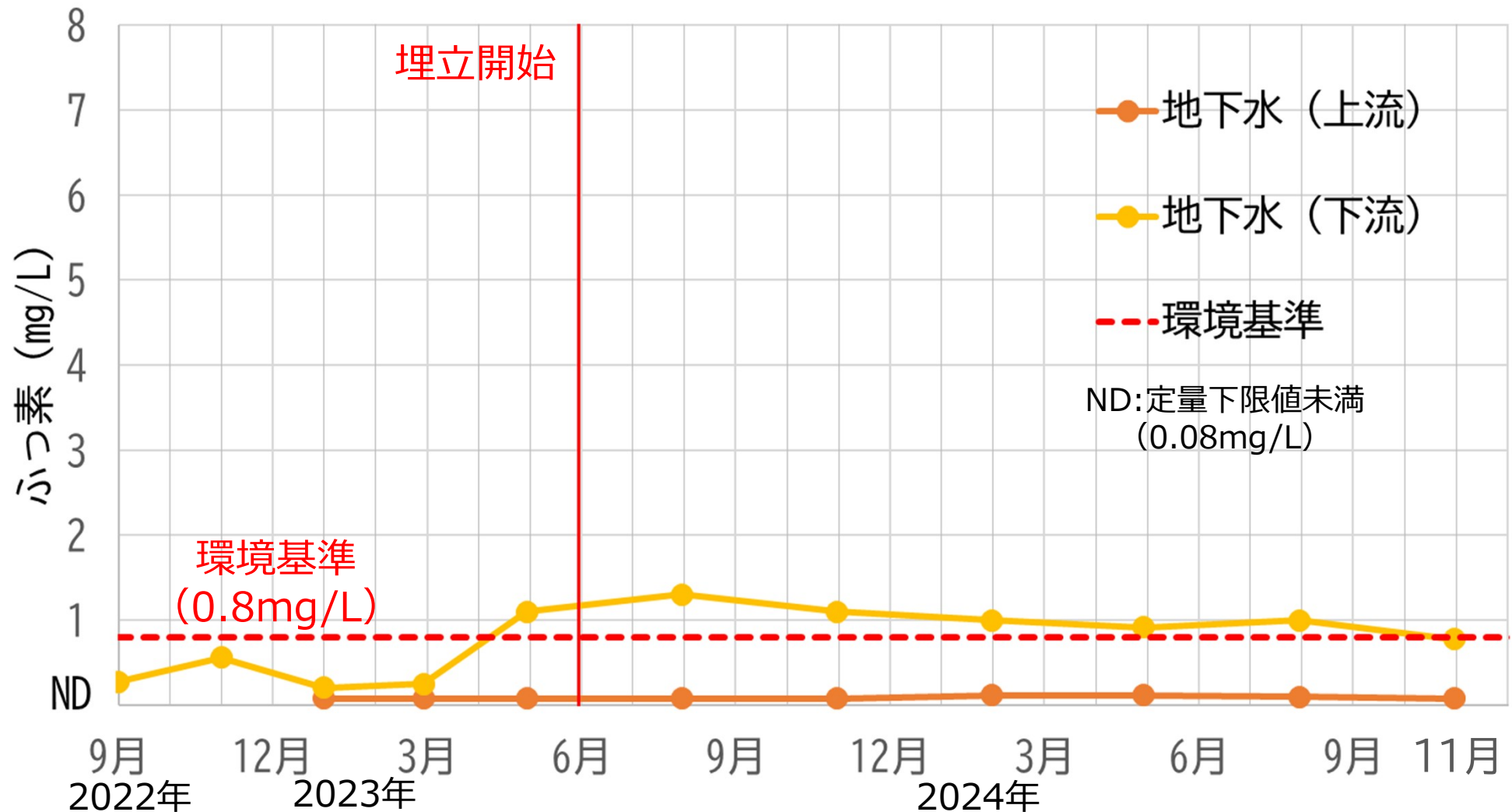
- P8～13で取り上げた項目以外で特筆すべき項目として、カドミウムとふっ素では、埋立開始前から地下水環境基準を超過した値が確認されています。継続的に注視していくため、次ページ以降にグラフで結果を示します。
- その他の測定結果は、以下より確認いただけます。
- その他の測定結果
  - 粉じん：[粉じんの調査結果 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp)
  - 悪 臭：[悪臭の調査結果 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp)
  - 騒 音 振 動：[騒音・振動の調査結果 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp)
  - 河川水水質：[河川水水質の調査結果 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp)
  - 河川水の放射能濃度：[河川水の放射能濃度の調査結果 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp)

地下水下流（C-2）では埋立開始前の5月より継続して地下水環境基準を超過する値が確認されています。  
 これらは自然由来である可能性が高く、有識者の御意見を伺いつつ引き続き動向を注視して参ります。



※詳細データはこちらからご確認下さい ([地下水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp))

地下水下流（C-2）では埋立開始前の5月より継続して地下水環境基準を超過する値が確認されてきましたが、11月は基準を下回る0.78mg/Lでした。これらは自然由来である可能性が高く、有識者の御意見を伺いつつ引き続き動向を注視して参ります。



※詳細データはこちらからご確認下さい ([地下水の水質 \(env.go.jp\)](http://env.go.jp))